

第1学年竹組 国語科学習指導案

指導者 宮田 柚子

1 日時・場所 令和4年11月9日(水) 第2校時(9:35～10:20) 自教室

2 単元名 じどう車くらべ

3 単元の目標

- 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 知(2)ア【知識・技能】
- ◎ 事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉えることができる。 思 C(1)ア【思考・判断・表現】
- 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。 思 C(1)ウ【思考・判断・表現】
- ◎ 事柄の順序に沿って、簡単な構成をすることができる。 思 B(1)イ【思考・判断・表現】
- 分かりやすい説明の仕方に関心を持ち、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとする。  
【学びに向かう力・人間性等】

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○ 事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 <b>知(2)ア</b>	○ 「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 <b>思 C(1)ア</b> ○ 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 <b>思 C(1)ウ</b> ○ 「書くこと」において、事柄の順序に沿って、簡単な構成を考えている。 <b>思 B(1)イ</b>	○ 分かりやすい説明の仕方に関心を持ち、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。

5 指導観

(1) 児童について

本学級の児童(23名)は、全体の中で明るく活発に発言する児童が多い。発想が自由で意見も多種多様である。しかし、自分の考えを伝えたいという思いが強く、話題に沿った発言ではない場合もよく見られる。また数名のグループで話し合いを行うと遠慮がちになり、活発に発言する一部の児童の考えが中心になることもある。これらは、児童一人一人に伝えたい思いはあるものの、それらを分かりやすく伝えようと構成を考えたり、友達の考えを聞きつつ、それに対する自分の考えを述べたりする経験が少ないためだと考えられる。

1学期に学習した教材文「くちばし」において教材文を読み取る際には、「問い」と「答え」の簡単な構成や、くちばしの「つくり」と「はたらき」など、事柄の順序を意識して読むことができた。しかし、図鑑の情報を基に「くちばしクイズ」を作る際には、順序を考えて書くことが難しい児童が多くいた。初めて読む文章の中の重要な語や文を選び出すことの難しさ、構成を考えて書くことの難

しさがその要因と考えられる。

そこで本単元では、文章の構成に着目しながら、目的意識を持って自分の考えを表現することができるよう学習を展開し、説明する文章を読んだり書いたりする力を育みたい。

## (2) 単元構成について

本教材は、前半の「じどう車くらべ」で説明文を読む学習をし、後半の「じどう車ずかんをつくらう」で説明文を書く学習をする。学習課題として設定した「言いたい！聞きたい！すごい車発表会」へ向けて、単元を通して学習の目的意識がつながるように、今回は前半と後半を合わせた単元構成を考えた。

第一次では、知っている自動車について伝え合ったり、学校図書館で興味のある自動車を調べたりし、自動車への関心を高める。その後、学習の見通しや目的意識が持てるよう本単元の学習課題と学習計画を設定する。学校図書館は単元を通して活用し、様々な自動車を知ることができるようにしたい。

第二次では、発表会へ向けて文章構成のヒントを教科書本文から読み取る。教材文は、3種類の自動車について「しごと」と「つくり」の順序で説明されており、そのつながりを示すために「そのために」と言う接続語が使われている。読み進めながら説明の順序の共通点を捉え、それらを自分が説明するときにも生かしたいという意欲を高められるようにする。

第三次では、自分が選んだ自動車の「しごと」と「つくり」を色分けしたカードに書き、その順序を考える。その際に「しごと」に合う「つくり」か、その車のすごさが伝わるか、などの視点で話し合いをし、一人一人が、自分が選んだすごい車のすごさに自信を持つことができるようにする。

単元を通して「すごい車を発表したい。」という目的意識を大切にしながら学習を進め、その過程で対話の場を設定する。対話をする中で、自分の考えがより伝わる話し方ができるよう、話し合いの状況に応じて教師が助言を行う。自分の思いが伝わるように構成を考え、発表会では分かりやすく説明することができたという経験を積むことを通して、本校の研究主題である「自ら学び 豊かな関わりの中で 伝え合い 高め合う児童の育成 ～単元構成の工夫・必然性のある学習課題の設定・対話の場の充実を通して～」に迫っていきたい。

## (3) 指導について

本時は、単元の終末の第三次で、それぞれが選んだすごい車の説明について「しごと」に合う「つくり」か、その車のすごさが伝わるか、という視点で考えを伝え合う学習である。まず全体で話し合いの視点や話し方・聞き方の合言葉を確認し、お互いの意見がより伝わる話し合いの仕方を意識できるようにしたい。話し合いでは、2～3人でペアやグループを作り、一人ずつ自分が選んだ車の「しごと」と「つくり」や、すごいと感じたことなどを伝え合う。話し手は自分がすごいと思った車の「しごと」と「つくり」について図鑑や短冊カードを用いて説明し、聞き手は話し手の考えをよく聞いた上で、「しごと」に合う「つくり」か、その車のすごさが伝わるか、という視点でアドバイスをする。その際色分けした短冊カードを使って並べ替えながら話し合うことで、内容や事柄の順序を視覚的に整理しやすくする。また、話し合いの状況に応じて教師が助言をし、対話を促したい。本時の活動を経て、自分が考えていた構成に自信を持ったり、見直したりすることができるようにし、「選んだ車のすごさを伝えたい。」という目的意識を持って発表会へ臨めるようにする。

## 6 指導計画

次	時	主な活動	評価規準（評価方法）
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自動車について、知っていることを話し合う。</li> <li>○ 図鑑等を読み、いろいろな自動車があることを知る。</li> <li>○ 学習課題を考え、学習計画を立てる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     言いたい！聞きたい！すごい車発表会をしよう。                 </div>	並 行 読 書
2	2～4 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書を読み、すごいが伝わる書き方を知る。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バスや乗用車、トラック、クレーン車の「しごと」と「つくり」を確かめる。</li> <li>・ 「しごと」と「つくり」を見付ける手掛かりとなる言葉を知る。</li> <li>・ 一つの「しごと」に対し、二つの「つくり」があることに気付く。</li> <li>・ 文章の構成の意図を知る。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「しごと」に合った「つくり」が説明されていることに気付いている。【知】（発言・記述）</li> <li>・ それぞれの自動車の説明を読み、その「しごと」と「つくり」を捉えている。【思】（発言・記述）</li> <li>・ 事柄の順序について考える活動を通して、構成の意図を捉えている。【思】（発言・記述）</li> </ul>	
	5 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ はしご車を説明するために、図鑑で調べる。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ すごいが伝わるような「しごと」と「つくり」を見付ける。</li> <li>・ 見付けた「しごと」と「つくり」を短冊カードに書く。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はしご車の資料から、その「しごと」と「つくり」を捉えている。【思】（発言・記述）</li> <li>・ 説明における順序の重要性を知り、自分が説明するとき生かそうとしている。【態】（発言・記述）</li> <li>・ 「しごと」と「つくり」の関係を理解し、説明する文章の簡単な構成を考えることができている。【思】（発言・記述）</li> </ul>	
	6 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 選んだカードが、「しごと」に合う「つくり」になっているか、すごさが伝わるか、ペアやグループで話し合う。</li> </ul>		
	7 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ はしご車の「しごと」と「つくり」や、すごさを説明するための資料を作る。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体で共有し、すごいが伝わったか、感想を伝え合う。</li> </ul> </li> </ul>		
3	8 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発表したいすごい自動車を決める。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ すごいが伝わるような「しごと」と「つくり」を見付ける。</li> <li>・ 見付けた「しごと」と「つくり」を短冊カードに書く。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表したい自動車の「しごと」に合わせた「つくり」を選び、伝えたいことを明確にしている。【思】（記述）</li> <li>・ 「しごと」と「つくり」の関係を理解し、説明する文章の簡単な構成を考えることができている。【思】（発言・記述）</li> <li>・ 発表会をし、感想を伝え合うことを通して、自分の文章の良いところを見付けている。【思】（発言・記述）</li> </ul>	
	9 (本時) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 選んだカードが、「しごと」に合う「つくり」になっているか、すごさが伝わるか、ペアやグループで話し合う。</li> </ul>		
	10 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 選んだ車の「しごと」と「つくり」や、すごさを発表するための資料を作る。</li> </ul>		
	11 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発表会をし、感想を伝え合う。</li> </ul>		

7 本時の指導

(1) 目標

自動車の「しごと」と「つくり」の関係を理解し、説明する文章の簡単な構成を考えることができる。

(2) 本時の主な言語活動

それぞれが選んだ車のすごさが伝わるか、「しごと」に合う「つくり」になっているか、などの視点で考えを伝え合う。

(3) 準備物

短冊カード、図鑑

(4) 展開

学習内容	時間	主な発問 (○) と予想される児童の反応 (・)	○指導上の留意点 ◎評価											
1 学習課題を確認する。	8	○ 前は、どのような学習をしましたか。 ・ 紹介したい車の「しごと」と「つくり」を短冊カードに書いたよ。 ・ 発表会で言いたい「しごと」と「つくり」を選んだけど、たくさんあって迷ったよ。	○ 学習の見通しが持てるよう、本時の流れを確認する。											
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     すごいが伝わる「しごと」と「つくり」を決めよう。                 </div> ○ すごいが伝わる書き方を確認しましょう。 ・ 「しごと」の次に「つくり」を書いていたよ。 ・ 「しごと」に合う「つくり」だったよ。 ・ すごい！が伝わる「しごと」と「つくり」を書くといいよ。 ・ 「そのために」という言葉でつなぐよ。	○ すごいが伝わる書き方が明確になるよう、教科書で学習した説明の順序の共通点や、接続語について確認する。 ○ 話合いの見通しが持てるように短冊カードの並べ方の例を示す。											
2 話合いの方法を確認する。	5	○ 話合いの方法を確認しましょう。	○ 話す順番が明確になるよう、話す手順を提示する。											
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">話し手</th> <th style="width: 50%;">聞き手</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① すごいと思ったところを話す。</td> <td>・ 困っていたら相手のカードを見ながらたずねる。 「○○がすごいと思ったの？」</td> </tr> <tr> <td>② 選んだ「しごと」と「つくり」を話す。</td> <td>「選んだ『しごと』を教えて。」 「『つくり』はこれを選んだんだね。」</td> </tr> <tr> <td>③ 相談したいことを話す。</td> <td>・ 自分の考えを話す。 「すごい！が伝わったよ。」 「この『つくり』の方がぴったりじゃないかな。」</td> </tr> </tbody> </table>	話し手	聞き手	① すごいと思ったところを話す。	・ 困っていたら相手のカードを見ながらたずねる。 「○○がすごいと思ったの？」	② 選んだ「しごと」と「つくり」を話す。	「選んだ『しごと』を教えて。」 「『つくり』はこれを選んだんだね。」	③ 相談したいことを話す。	・ 自分の考えを話す。 「すごい！が伝わったよ。」 「この『つくり』の方がぴったりじゃないかな。」	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     思ったところ                 </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     すごいと                 </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     つくり                 </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     つくり                 </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     しごと                 </td> </tr> </table> </div>	思ったところ	すごいと	つくり
話し手	聞き手													
① すごいと思ったところを話す。	・ 困っていたら相手のカードを見ながらたずねる。 「○○がすごいと思ったの？」													
② 選んだ「しごと」と「つくり」を話す。	「選んだ『しごと』を教えて。」 「『つくり』はこれを選んだんだね。」													
③ 相談したいことを話す。	・ 自分の考えを話す。 「すごい！が伝わったよ。」 「この『つくり』の方がぴったりじゃないかな。」													
思ったところ	すごいと	つくり	つくり	しごと										

3 ペアで話し合う。	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ すごいが伝わる「しごと」と「つくり」が決まるよう、話し合しましょう。</li> <li>・ つくりがたくさんあって、どれがいいか迷っているよ。</li> <li>・ ○○がすごいと思ったんだね。それならこの「つくり」の方がぴったりじゃないかな。</li> <li>・ すごい！と思っていることがよく伝わったよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 伝えたいすごさが相手に伝わっているか、という視点が持てるように話合いの状況に応じて声掛けをする。</li> <li>◎ 「しごと」と「つくり」の関係を理解し、説明する文章の簡単な構成を考えることができている。(発言、ワークシート)</li> </ul>
4 全体で話し合う。	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ みんなにも相談してみたいことはありますか。</li> <li>・ 「つくり」を入れ替えたけど、まだ悩んでいるよ。</li> <li>・ 並べ方が決まったよ。みんなにもすごいが伝わるか聞いてみたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の考えの変容や相談したいことが視覚的に分かりやすくなるように、カードを電子黒板に提示する。</li> </ul>
5 自分の「しごと」と「つくり」を決める。	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話し合ったことを基に自分の「しごと」と「つくり」を決めましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話合い後に選んだ車のすごさや、自分が伝えたい思いをじっくり考える時間を確保する。</li> </ul>
6 本時の学習を振り返る。	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今日の学習を振り返りましょう。</li> <li>・ 「しごと」に合う「つくり」が決まったよ。</li> <li>・ みんなと一緒に考えて、「つくり」のカードを変えたよ。</li> <li>・ 発表会が楽しみになったよ。</li> <li>・ 次は発表会に向けて準備をしよう。</li> </ul>	

## 8 事後の指導

- 選んだ車のすごさを伝えるための発表準備をする。
- 発表会で、自分の考えを分かりやすく伝えることができた経験を積むことで、達成感や満足感を味わえるようにする。

## 9 授業評価の視点

### (1) 授業構成力

ペア学習を取り入れて、すごいが伝わるように文章の構成を考えたことは、課題を解決するために有効であったか。

### (2) 授業実践力

対話の場における教師の働き掛けは、対話を深めるために有効であったか。